

# 歯つらつ

2017年11月

260号

～発行所～

齋藤歯科診療所  
由利本荘市美倉町 47-1

フシノヨイハニ

0120-24-4182

FAX 0184-24-1440

www.saitoshika.net

～診療時間～

曜日:月曜日～土曜日  
時間:午前 9:00～1:00  
午後 2:00～6:00

～休診日～

日曜・祝日  
第2・4木曜日

9月9日から12日までアメリ

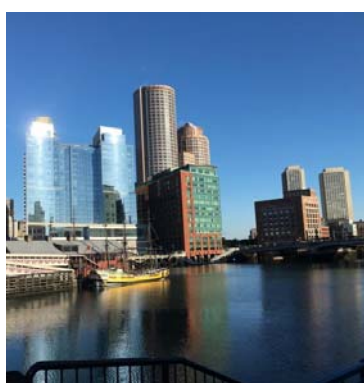
カのマサチューセッツ州ボ  
ストンにおいて歯周病学会が  
開催され、8年ぶりに参加し  
てまいりました。2003年、  
2009年に続いて3回目の  
参加になります。

このたびに参加したアメリカ  
歯周病学会は1914年に設  
立されました。今回で103  
回目を迎え、日本の歯周病学  
の発展にも大きな影響を与え  
ております。おそらく歯周病  
学においては世界で最も権威  
と歴史のある学会のひとつで  
はないかと思えます。

学会は郊外の会議場で行わ  
れました。会場は広大で Gen-  
eral Session の行われるメイン  
会場は端から端が見えないの  
ではないかと感じるほどです。

## アメリカ歯周病学会に参加

講演の演題数も多く、テー  
マも多岐にわたり、どれを見  
るのか迷いました。到底私1  
人ではまわりきれなかったの  
ですが、私なりに印象的に感  
じたのは学会の主題といいま



すか、トピックの変遷です。

2003年に初めて参加し  
た際、講演の多くは失われた  
歯周組織をどうにかして再生  
させて歯牙を保存しようとする  
「歯周組織再生療法」につ

いて取り上げたものだったと  
記憶しております。2009  
年には、インプラントやイン  
プラントを行う前準備として  
の歯周組織の手術についての  
講演が増えたと感じたもので  
した。そして今回はインプラ  
ントの歯周病とでもいうべき  
「インプラント周囲炎」につ  
いて扱ったものが多いと思っ  
ました。

歯を失った部分に行われる  
インプラントですが、もちろ  
ん万能ではありませんしトラ  
ブルが起ることもありえま  
す。インプラントを行う際の  
前準備、術後の注意点につい  
て配慮することの必要性を改  
めて学ぶことができました。  
また天然歯を極力保存して、  
そもそもインプラントを行わ

11月の休診日は右記の通  
りです。患者様にはご迷惑  
をお掛けしますが、よろし  
くお願い致します。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 休診	4		
5 休診	6	7	8	9	10	11 休診
12 休診	13	14	15	16	17	18
19 休診	20	21	22 休診	23 休診	24	25
26 休診	27	28	29	30		

休診日のお知らせ

なくとも済むように努力する  
のが更に重要であることを再  
認識いたしました。

外国で行われる学会に参加  
するには何日も診療をお休み  
しなくてはなりません。しか  
し日本国内においては学べない  
事柄も多く、ヒントもたくさ  
ん得る機会になります。今後  
も何とか折に触れて参加して  
いきたいと思えます。

— 院長 —



# 8020運動 当院から29名認定

- ・阿部 久義様 89歳 26本
  - ・渡辺 金一様 87歳 27本
  - ・工藤ヒトエ様 86歳 20本
  - ・中村 松夫様 86歳 20本
  - ・池田金之助様 85歳 21本
  - ・大井 永吉様 85歳 24本
  - ・藤谷 房男様 84歳 24本
  - ・成田 和子様 84歳 20本
  - ・佐藤 幸子様 83歳 22本
  - ・佐藤 淑子様 83歳 27本
  - ・柴田 与治様 83歳 25本
  - ・中村 敏子様 83歳 22本
  - ・齊藤コフ子様 82歳 28本
  - ・佐々木貫三様 82歳 24本
  - ・宮川比左子様 82歳 20本
  - ・猪股 豊 様 81歳 20本
  - ・田中 功一様 81歳 20本
  - ・間杉 康一様 81歳 20本
  - ・元山 高洋様 81歳 26本
  - ・岩尾 スメ様 80歳 21本
  - ・菊地 新一様 80歳 20本
  - ・佐藤 専次様 80歳 20本
  - ・土田 吉幸様 80歳 22本
  - ・長谷部ミツ様 80歳 27本
  - ・堀井 三郎様 80歳 27本
  - ・宮原 昭二様 80歳 23本
  - ・渡部 信 様 80歳 23本
- 他2名（年齢順・診査時現在）

※お名前・年齢・残存歯数を許可を得て掲載

8020運動とは、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という、日本歯科医師会と厚生労働省が国民に呼びかけている運動のことです。今年当院から29名の患者様が見事に達成され、県知事より認定書が授与されました。認定された皆様、誠におめでとうございます。職員一同心よりお祝い申し上げます。

受賞された方々は、皆様とても若々しく心身共に元気な方々です。そして積極的に定期検診に来院して下さいます。自分の歯で食べられることが生活の質（QOL）の維持につながっていると感じます。

また、残存歯が少ない方も、8020運動とは、い方であっても、しっかりと噛むことができ、義歯を装着するなどの歯科治療を受け、お口の中の状態を健康に保つことで達成者と変わらない生活を送ることができます。

8020は80歳という年齢が設定されているため、高齢者向けの運動と受け取られやすいのですが、達成するために生涯にわたる予防処置が必要です。子どもの頃からブラッシングの習慣を付けたり、フッ素塗布などの処置を充実させることも立派な8020運動なのです。

抜歯をしなければならなくなるまで放置せず、歯科を受診し定期検査・定期処置を受けましょう。— 高原 —